

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

6月号/2014年6月1日発行

■ 5月16日(金)
18:30~

5月通常例会

■会場 いわき市
生涯学習プラザ
4階

テーマ 「小名浜エリアの現状と今後の開発計画について」

講師 小名浜まちづくり市民会議 会長 佐藤 毅氏



小名浜港背後地では、いわき市の復興のシンボリックな事業として区画整理事業や津波復興拠点整備事業などが進められ、福島臨海鉄道株式会社貨物ターミナルの移転跡地(都市センターゾーン)にはイオンモールの出店が予定されています。

「(仮称)竹町通り」の道路整備は、地域の皆様の津波避難路としての機能はもとより、背後地の賑わいを既成市街地側に呼び込むため、地元まちづくり団体や商店会、地域の皆様と協働で取り組む「都市センターゾーン(イオンモール)」と「既成市街地(本町通り、タウンモールのリスポなど)」を繋ぐ「回遊の南北軸」の形成です。

■ 整備の目標

汐風に乗って竹町通りが運ぶ 人・活気・安心
歩いて楽しい みなとアメニティロードづくり

◆ 誕生月プレゼント アストロメリアが贈られました



左から寺主君男代表幹事、高萩和義さん(5月22日生)、塚本英雄さん(5月20日生)
高原繁美さん(5月19日生)、塚橋本年勝さん(5月15日生)

■ 整備の基本的考え方

あんしん
防災・減災性能の向上

港とまちを繋ぐ動線としての整備

- 各施設を訪れる人をまちに誘引する軸の形成
- 災害時の避難路、人の交流による賑わい創出

安全に歩いて楽しめる魅力ある空間づくり

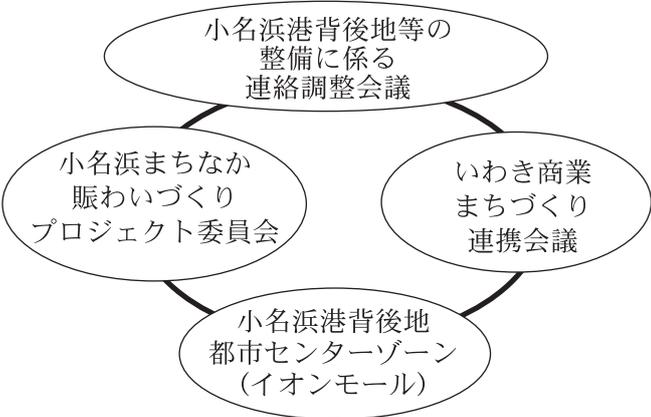
- 来訪者が歩いて楽しめる空間の創出
- 避難路、安全でうるおいある空間の創出

良好な住空間、魅力ある沿道景観による文化の創造

- 通りの風情、新しい小名浜の文化の創出
- 避難時の案内版、誘導サインの設置周辺住民の生活道路としての機能向上

■ 官民連携でのまちづくり

地域の一員として、まちづくり活動に積極的に参画する
～官民連携・地域事業者との連携協議体制～



イオンモールの集客数予想、年間800万人、1日2万人、土日5万人。これは花火大会の人出と同じです。遠方から来た人達の交通の誘導、交通渋滞の緩和を近隣施設と共に考えていかなければなりません。これは来客数の予想ですが、イオンモールで働く500人の駐車場はどうするのか。

これまでの小名浜では、土地があまっていて有料駐車場が成り立たなかったのですが、これからは新しいビジネスとして成り立つのではないのでしょうか。

イオンモールの大きさは、水戸内原の半分の規模。土地の定期借地権は40年という事ですが、果して40

年間居るだろうかと不安もあります。どのようにお客を飽きさせない工夫をしていくのか、一抹の不安もあります。

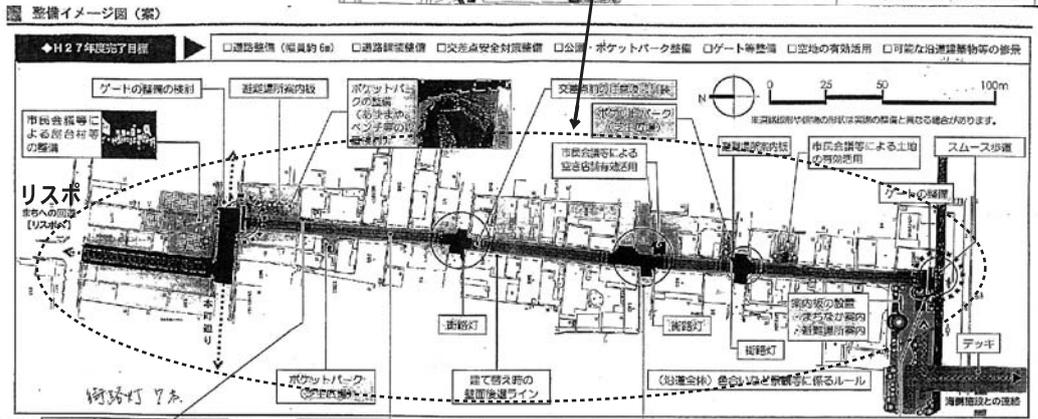
私たちの市民会議には、小名浜商店会連合会、リスポさんも入っていますが、「影響は？」という話も出ます。私個人の意見ですが多分潰れるところは、殆ど出ないと思っております。この本町通りに面している商店の皆さんは、店売りではなく、法人向け、企業向けの商売をしているので影響は殆どないのではと、楽観視しています。リスポさんにおいても、モールさんとは明らかに客層が違い、住み分けができるのではないかと思います。市民会議では、イオン頼りではなく、自活できる商店街でなければなりません。“イオン城下町”だけにはなってははいけません。1,600台のイオンの駐車場を、逆に使ってやる位の意気込みでイオンに対抗していかなければなりません。いかにお客様を引き込むが、これからの1年10ヶ月間は、大事な時間だと思います。一つの方策ですが、立体駐車場を作り、イオン従業員が使えば、700人がこの通りを歩きます。きっと新ビジネスチャンスが生まれるのではないかと期待しています。その時々正確な情報を的確につかみ、いい意味でイオンモールを使って小名浜の町が、もっともっと活性化することを願っています。

何故、私たち市民会議が反対をしなかったのか、最大の理由は、「だまっているだけでは沈んでいくだけ、何とか、これを利用してやれ」という気持ちからであって、これから先も取組んで参ります。

本日はありがとうございました。



【講師略歴】
 福浜大一建設株式会社
 代表取締役
 (小名浜まちづくり市民会議の役員歴)
 平成15年
 パートナースhip委員会 副委員長
 平成21年
 まちなか活性化委員会 委員長
 平成25年
 会長就任
 平成25年
 市政功労者(団体)表彰
 (ボランティア功労)



5月グループ会報告

関税特区研究グループ会

- 日 時 5月16日(金曜日)19:20～
■場 所 いわき市生涯学習プラザ

5月度は例会委員会との共催により5月度例会の運営を実施した。

講 師 小名浜まちづくり市民会議 会長 佐藤 毅氏
(福浜第一建設代表取締役)

テーマ 「小名浜エリアの現状と今後の開発計画について」

- 内 容 ①小名浜港背後地(都市センターゾーン)の整備内容について
②竹町通りの整備について(竹町汐風通り)
③官民連携・地域商業者との連携協議体制について
④東港地区国際物流ターミナルの整備概要について
⑤都市計画道路平磐城線について
⑥小名浜魚市場の再編整備について
⑦(仮称)小名浜道路について
⑧その他

まちづくり観光グループ会

市民会議・タウンモールリスポ・エブリアテナント会交流会が日程の調整が取れず順延となり、主な活動はありませんでした。

スポーツ交流グループ会

- 日 時 5月14日(金曜日)9:38～
■場 所 サラブレットカントリークラブ

資質向上研究グループ会

- 日 時 5月17日(土曜日)8:00～
■場 所 牛久及び佐原町方面

第2回(5月度)移動グループ会：牛久及び佐原町方面の文化財を観る。

晴天に恵まれ、7名にて予定のコースを塚本・館さんの車両にて出発。

シャートーカミヤ旧醸造場施設3棟は、2008年6月

に「最初期の本格的ワイン醸造施設」として、文部科学省より国の重要文化財に指定された。「事務室」「醱酵室」「貯蔵庫」の旧醸造施設の3棟。明治中期の煉瓦造建築として歴史的価値の高さと、当時の醸造方式を理解するうえで産業技術史における価値が高いということが評価された。

大杉神社は茨城県稲敷市阿波にある神社。通称はあんばさま。古名は大杉明神。旧社格は郷社。別表神社。関東、東北地方に分布する大杉神社の総本社である社殿に施された彫刻が見事で、一見の価値があります。

うなぎ割烹山田にて昼食。香取神宮の門前に位置し、水郷観光の拠点として昔ながらの古い街並みが残っています。そんな佐原にあるうなぎの名店です。

佐原町・重要伝統的建造物群保存地区を散策

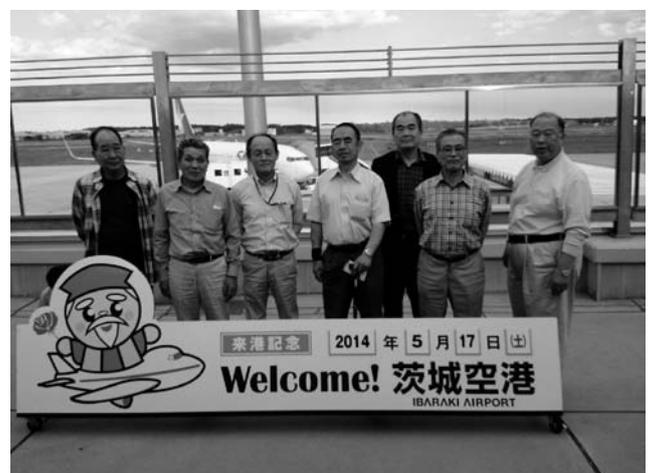
伊能忠敬旧宅(寛政5年(1793)建築・国指定史跡)のほか県指定文化財も8件(13棟)が小野川沿いや香取街道沿いに軒をつらねています。

香取神宮は『神宮』の御称号(明治以前には伊勢・香取・鹿島のみ)を以て奉祀されており、明治以後の社格制では官幣大社に列し、昭和17年、勅祭社に治定され今日に至っている。

本殿は、慶長年間の造営で用いた桃山様式を元禄の造営時にも取り入れよく受け継いでいます。香取神宮の宝物文化財は県指定文化財以上のものだけでも、200点余を収蔵所有しております。

百里飛行場は、茨城県小美玉市にある航空自衛隊の管轄する飛行場であり、2011年に共用化された軍民共用飛行場である。民間施設として名称は茨城空港。

発着先は国内線が6都市、国際線は2都市あり、福島空港よりにぎわっていた。



いわきブランド研究会

■日 時 5月27日(火曜日)11:00～
 ■場 所 アクアマリンふくしま

平成26年度第2回カジキグルメ実行委員会の開催。

始めに武藤実行委員長より本年度の主な行事についての説明があり、6月19日に迫った、第4回カジキ料理コンテストの進捗状況及び9月に開催予定のカジキ

グルメサミット 2014のイベント内容の説明がありました。

また、今回会議の第一の目的として、市内でカジキ料理を提供しているお店で、食事を開催し、全員でその料理を食べ、率直な感想を述べ合う旨の目的もあり、今回アクアマリン ふくしまのレストランにて提供されている「ヘミングウェイのカジキメンチ定食」を頂きました。また、アクアマリンふくしまの安部館長より、水族館の運営、活動を取りまく国際情報についてのお話を頂き大変参考になりました。

● 企画総務委員会 報告

マスコミ懇談会 5月19日 正月荘

この事業は、いわき経済同友会の活動をマスコミ各社にご理解を頂き、当会のPRにつなげ、相互の情報交換の場として活用する事を目的とします。

実現と成果については、概ね達成出来たと思われれます。昨年度より報道機関の方々の参加者が増え(2名増)、より多くの方々と交流を深める事が出来ました。本年度は懇談会の前に会議形式の意見交換会を実施いたしました。

マスコミ関係者から懇談の時間をもっと取っても良いのではないかと意見がありました。



6月のグループ会

- 関税特区研究グループ 6月24日(火) 19:00～ 場所 建設会館5F
 講師 国土交通省 東北地方整備局小名浜港湾事務所 木本 仁氏「小名浜港について」
- まちづくり観光グループ 6月17日(火) 19:00～ 場所 建設会館5F
 6月グループ会は、タウンモールリスポ・エブリアテナント会・小名浜まちづくり市民会議の方々とイオンモールとまちづくり及び、いわき市内商店街全体の課題や商業者間の連携策など車座的な形で交流勉強会を下記日程により開催いたします。
- スポーツ交流グループ 6月30日(月) 18:30～ 場所 やきとり大吉いわき平店
 「経営スキルアップ研修」 同店正木社長を囲んでスキルアップ研修会
- 資質向上グループ 6月28日(土) 9:00～ 場所 小名浜方面 文化財の研修
- いわきブランド研究会 未定

6月通常例会 6月27日(金)

講師 前観光庁長官 溝畑 宏氏
 テーマ 「カジノ構想の現状といわきでの可能性について」
 会場 スパリゾートハワイアンズ ラピータ

例会 18:00
 講演会 18:30
 懇親会 20:20
 会費 5,000円

創立記念公開講演会 7月23日(水)

会場 パレス いわや 13:00～15:00

新潟市・会津若松市・郡山市・いわき市 都市間連携による復興からの地域再生
 - 4市長が討論を交わす! 磐越自動車道沿線拠点都市 復興シンポジウム

いわき経済同友会
 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

● 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F 発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編集 情報委員会 委員長 小野英典
 http://www.seaiwaki.jp 副委員長/坂本和久・田村慎太郎・馬場 学
 E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp 山崎勇一郎